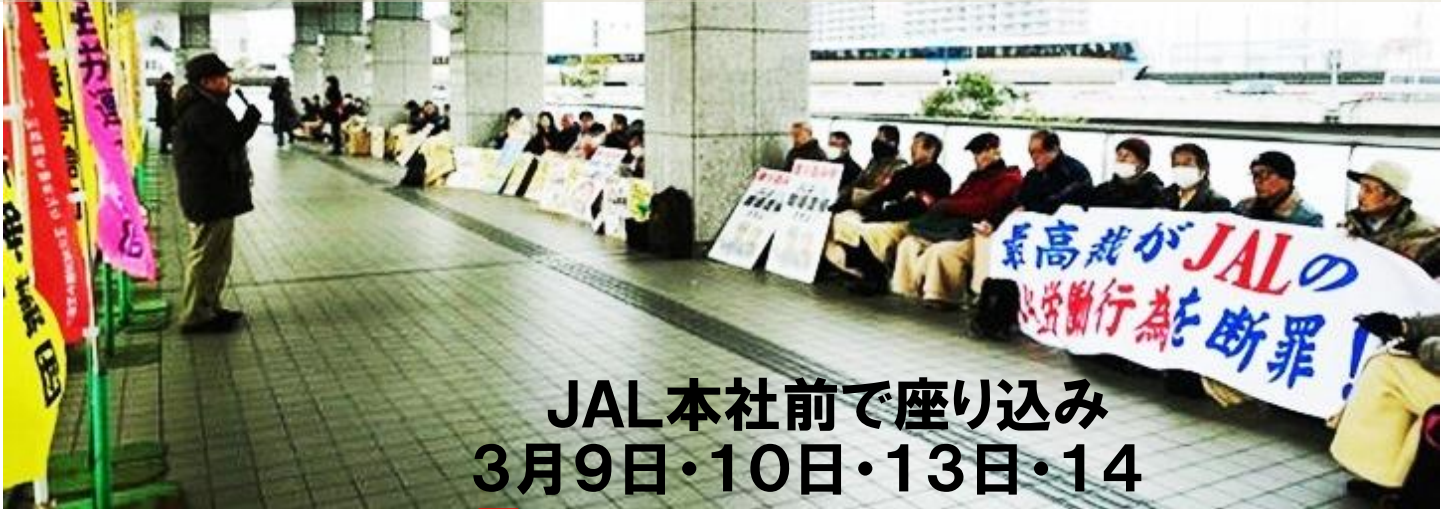




# JAL不当解雇撤回ニュース

No528 号 2017.03.24  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekai.com>

## JALは3労組合同団交に応じよ！



JAL本社前で座り込み  
3月9日・10日・13日・14

春闘の山場前、3月9～14日（除く土日）までの4日間、天王洲の日航本社前のスカイウォークにて、座り込みが行われました。寒風が吹きすさぶ中、のべ370名が参加し、「日航は直ちに解決に向けた交渉に応じよと！」と抗議の声を上げました。

昨年末より、機長組合・乗員組合・キャビンクルーユニオンの3労組が、解雇問題の解決に向けた統一要求を掲げ、合同団交を申し入れています。日航は、今春闘も合同団交に応じず、誠意ある対応を全く示していません。

また、通常は2月に発表される中期事業計画が4月末にずれ込み、「原資に係る問題（ベースアップや一時金等）については、中期計画発表後」に回答するという対応で、社長出席の経営協議会も開かれない等、異例の春闘となっています。



## 寒さを吹き飛ばした 歌の力！



うたごえで闘いを励まそうと、連日うたごえ協議会の皆さんや歌手の橋本のぶよさんが駆け付けて下さいました。スカイウォークを吹きぬける寒風に負けじと、心に沁みわたる歌声が披露されました。

フェニックス合唱団も歌い、お昼休みに人々が行きかうスカイウォークに歌声が響き渡りました。

# 50名の方から連帯のあいさつを受けました



**あきらめないこと！ 団結すること！**  
～連帯のあいさつより～

## 連帯のあいさつより



- 本当の春を呼ぶためには、闘いの機を逸しない運動をどう作るか。株主総会が山場だと思う。
- 理不尽な事に立ち向かうのは、そこに正義があるから。沖縄の問題や南スーダン問題も同じ。
- 争議をしている者は、壮絶な人生を送っている。それでも頑張り続けるのは大義があるから。労働者はたった1回の勝利でも社会を変えることができる。
- 不当労働行為裁判での勝利が最新の法的判決である。張り紙一枚で謝罪して済む話ではない。日航に責任を取らせるべき。
- 内部留保は一兆円になった。解雇した理由もなくなった。ならば元に戻せ。
- 憲法違反をして安全が守れるはずがない。JALの安全を守る闘いであると共に、解雇自由の社会にさせない闘いである。地域で連帯して行く。

- 不正なことを許さない闘いを国民に大きく広げる。多くの地域から声を上げ、JALを包囲する闘いを強める。そして団結を深め闘いを諦めないこと。
- 安全のために解雇した人を職場に戻すこと、それが利用者の声だ。
- 働き方の問題、労働者の問題、連帯して頑張ろう。
- 物を言える職場や労働組合が安全を支える基礎である。
- 労働者を人として扱わない企業が増えている。JALはその見本。貴重なノウハウを失い、技術や経験の伝承が切れた。
- 人手不足の現状を緩和するためにも解決が必要。今、民間航空が軍事利用に巻き込まれている。拒否できる職場が必要。
- 今でも不当労働行為を重ねている。安全運航を取り戻す闘い。道理は我々にある。追い詰められているのはJAL。

